

四十雀の現状とチームへの思い

四十雀は、全国マスターズ大会でベスト4に入るという最大目標のもと、チームのレベルアップを図っています。2005年は3月の千葉県予選で市原シニアに惜敗したため、残念ながら出場できませんでした。

4月より2006年マスターズに向けて始動してきました。（3月、大谷（前監督）より関が監督を引き受けました）

四十雀の目標である全国大会に向けて三井リーグ、千葉県シニアリーグと2のリーグを戦いながらチームコンセプトや個々のレベルアップという課題に現在取り組んでいます。

各リーグを戦う中で大敗をする事はなくなってきましたが、選手相互のコミュニケーション（戦術・サッカー観）がさらに向上すると接戦でも勝利できると考えています。

2006年は2000年、2004年と全国マスターズに出場し、決勝トーナメントには残れなかった悔しさを晴らすためにも、四十雀選手全員が1月1日 元旦よりトレーニング（5kmのランニングとミドルパワートレーニング（1000m3分20秒以内×4本以上を週3回実施）または、30mダッシュ40本（週3回）は最低実施して来たる2月末日の千葉県選手権に備えて欲しいと切に願います。

チームは毎年1年ずつ年を取ります。その上で若い選手の加入は今後の四十雀及び五十雀、六十雀の成績に直結すると思います。

千葉四十雀という大所帯が今までやってこられたのは、諸先輩方の努力（グラウンド確保、選手の勧誘、生涯現役という若さ等々）があったからだと思います。年齢、職種、性格？の違う我が儘な男達が休日になると汗を流せる環境（グループ）は他にはないと思います。私達は自分だけの満足で終わることなく、次なる若い力を日々入れて行かなければならないと考えます。

一人が一人を連れてくれば、人数は倍になります。2006年の提案は、「一人が一人を加入させる」にしてはどうでしょうか？芝のグラウンドで思いっきり汗を流す爽快さは日々の疲れを飛ばしてくれます。

その上でも兼松グラウンドは、大変ありがたい環境だと思います。グラウンドを提供して頂いている中町さんには本当に感謝しても仕切れないほどの思いをチーム全員が感じております。

この先いつまで使わせて頂けるかわかりませんが、日々感謝しながら（グラウンドの準備や整備にはチーム全員で協力していきたいと思います）使用したいと思っています。

「サッカーは少年を大人にし、大人を紳士にする」私はその後にこう付け加えます。

『紳士を少年に戻す』サッカーは紳士のスポーツであり、また子供のようにボールを追いかけることのできる少年のスポーツと！